

特殊詐欺との戦いが続いています

令和5年上半期 22件の被害

被害額合計約1億3,488万円

攻撃の始まりは、

犯人からの固定電話機への一本の電話です！

令和4年中、市内における特殊詐欺被害の始まりの電話は、すべて固定電話機への入電でした。

撃退するために、犯人に立ち向かう

武器（留守電・防犯機能付き電話機）と仲間（相談相手）を準備！

詐欺フレーズ

☆ 電話で息子や孫を名乗る者から

- ・ 電話番号が変わった
- ・ 急に現金が必要になった（用意して！）
- ・ 代わりの者にお金を渡して

☆ 市役所職員などを名乗る者から

- ・ 還付金があるので、ATMに行ってください

☆ 警察官や銀行協会職員を名乗る者から

- ・ あなたの口座が犯罪に利用されている
- ・ キャッシュカード預かります

と言われたら、詐欺です！

「お金」をにおわす
フレーズに注意

電話機対策

犯人は「録音」や
「警告メッセージ」を嫌がります。



☆ 在宅中も常に留守番電話をセットする。

- ・ 電話が鳴っても留守番電話サービスが応答するのを待つ。
- ・ **録音**メッセージの内容を確認して必要であれば折り返す。

☆ 防犯機能付き電話機に交換する。

- ・ 電話が鳴る前に、「この通話は防犯のために**録音**されます。」などの**警告メッセージ**が流れる。
- ・ 電話に出ると通話が自動**録音**される。

電話対応方法

☆ **ポイント**（本来は知らない番号は出ないのが一番ですが・・・）

- ・ 電話に出た際、先に名前を名乗らない。
- ・ 逆に相手の名前や連絡先などを質問する。

※ 特にオレオレ詐欺では、家族でないと知りえないこと（ペットの名前は？など）を質問するのが効果的

- ・ 「個人情報」「在宅時間」「暗証番号」「家族構成」などは、聞かれても絶対に教えない。

絶対に・・・

- ・ 現金を「渡さない」「送らない」「振り込まない」
- ・ キャッシュカードを渡さない
- ・ 暗証番号を教えない

・ **一人で悩まず、家族や警察に相談してください！**